

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（不二越機械工業株式会社）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

目 番 号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			雇用、教育、昇格・昇任、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営層が積極的に関与している。入社時の社員教育においても周知。相談窓口は経営管理部に設置している。							5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			ハラスメント等禁止する旨を就業規則に明記している。入社時の社員教育においても周知。相談窓口は経営管理部に設置している。全社研修会も実施							5.1 5.2 5.5		8.5 8.8						16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			労働基準法等の改正内容を経営層を営めて、共有している。長時間労働は正の為、スキルの向上やDXを推進し、業務の効率化、多能工化も含めた労働生産性の改善、勤怠管理システム導入により、時間管理を徹底し、勤務体制の整備・社実を固めている									8.5 8.8								
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			外国人の雇用については、過去にも実績があり、日本人と同等に処遇している。会社の戦力、働く意欲があれば活躍してもらえる場があるという認識でいる。				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			各職場から安全衛生委員を選出してもらい、安全衛生委員会を毎月1回開催し、安全衛生に関する連絡事項と各委員からの要望、課題等に対して対応している。年に5回安全と衛生に関するパノールを委員全員で実施。労働環境の改善活動を継続的に展開している				3					8								
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			ストレスチェックを基調として、日常的な社員の勤務状況や健康状況等を社内、各職場ごとに把握し、不調者に対しては、経営管理部相談窓口の個別面談等による早期対応と医療機関、産業医、契約心理カウンセラー等と連携し、取り組んでいる。				3													
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			多様な人材が柔軟に活躍できる環境を整えている。例えば長野県『社員の子育て応援宣言』に登録、子育てと仕事の両立を図っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			社員のスキル評価表を各職場ごとに作成し、それを基にOJT、OFFJTにより、職務や役割に応じた研修なども実施している。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			パートタイム労働法、労働契約法等の法令に基づき改正内容を理解して、同一労働同一賃金の原則に沿った対応を図っている。総合評価や目標管理も取り入れて活用している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			健康経営優良法人も毎年認定されている。会社加入の健康保険組合と連携し、健康チャレンジに取組んでいる。組合からの健康奨励金を活用し、血圧計や体重計も設置している。				3				8									
11	環 境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			毎年、廃棄物の削減に向けての計画を策定し、評価している。産業廃棄物の種類や量など現状を把握して、減量を目指している。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			エネルギー使用量を油換算で把握し、そこからCO2排出量を算出している。							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			全社の省エネ効果を睨んで、エアコン、社用車、照明器具等の更新計画を立て、順次取り組んでいる。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための代替品の選定や適切な使用を心がけている。また、生産している装置に関しては、取引先を巻き込んで、製品含有化学物質管理を運用し、少しでも安全な製品であることを				3.9			6.3				11.6	12.4					

目 番 号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得証拠があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			環境に配慮した材料、装置設計、サービスの提供を通じて、生物多様性保全に配慮している。							6.6								15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			DXIによる、ペーパーレス化の推進。原材料のロスや不良品を減らす取り組み。在庫管理の適正化。資源ごみの分別推進。梱包材の再利用化などに取り組んでいる。										13		14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			毎月の水の使用量の把握と監視、漏水防止対策。排水処理施設から出る排水の水質管理と測定の実施							6.4 6.6										
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）			環境マネジメントシステムISO14001は取得済み。				3.9			6	7				12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）			HP等を通じて、トピックスニュースとして情報開示している。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			第4工場の太陽光パネルの新規設置と利活用を実施								7.2									
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			社内のペーパーレス化や資材の再利用促進。LED照明や高効率機器の導入。装置製品開発段階からの環境を配慮した設計と装置筐体素材等の簡素化、軽量化。等												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			就業規則内の一般服務基準項目においても、利害関係者からの金品の授受等の背反行為等を含む行動規範が整備され、入社時等で周知徹底を図っている。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			就業規則、コンプライアンス規定を掲げ、社員に都度周知している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			専任部署、専任担当者を設置し、契約先特許事務所と連携し、特許、商標等知的財産権の取得、管理している。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			2015年に特定個人情報情報の適正な取り扱いに関する基本方針を定めて社内に周知し、また特定個人情報取り扱い規程を整備済みである。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って <u>いないこと</u> を確認している	チャレンジ （任意）	【非該当】		直接的に特定の材料等の入手はないが、取引先に対しては、万が一の場合に備えてトレーサビリティがきちんとしているルートからの購入していることをもって取引をしている。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			効率的かつ持続可能なサプライチェーンの実現に向けて、パートナー企業との信頼関係を基盤とし、共創と相互発展を目指したサプライチェーン管理を推進しています。公正・透明な取引を通じて、品質・コスト・納期(QCD)だけでなく、環境・人権・法令順守といった社会的責任にも配慮し、パートナーとともに価値を創出することを重視します。						5		8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）			2025年6月13日に宣言済み。				3					8	9	10						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定